

育もう地域の力 広げよう見守りの輪

高齢化や生活環境等の変化によって地域のつながりが減り、住民の孤立や必要なときに助けを求められないといったことが懸念されています。

区は、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らし続けるために、3つの見守り事業を実施しています。地域で「ちょっと気がり」なことを見掛けたときは、地域包括支援センターへご連絡ください。

閩福祉総合課地域ケア推進係
☎5722-9385、FAX 5722-9062

ちょっと気がりって、
例えばこんなこと

◀目黒区見守りネットワークキャラクター「まもりん」

郵便受けに新聞が
たまっているなあ

あいさつをしても
反応がないし、
最近、元気がないなあ

季節に合わない
服を着ているなあ

住民も事業者もまちぐるみで広げよう 3つの見守りネットワーク

見守る人・見守られる人を特定しない見守り

① 見守りサポーター

見守りサポーターとは、お住まいの地域で高齢者などをゆるやかに見守り、「ちょっと気がり」なことがあったときに、地域包括支援センターに連絡していただく見守りの担い手のことです。一人ひとりの地域の皆さんが見守りサポーターです。

登録事業者を募集しています！

② 見守りめぐねっと

地域の団体・商店・企業に登録していただき、日常生活や仕事の中で、「ちょっと気がり」なことに気付いたときに地域包括支援センターへ連絡していただく見守りです(4年9月1日現在、登録事業者数は25団体、4機関、414事業者)。

定期的に訪問を行う見守り事業

③ 高齢者見守り訪問事業

65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯などを対象に、地域の見守りボランティアが定期的に訪問する見守りです。見守りを希望するかた、見守りボランティアになりたいかたは、地域包括支援センターにお問い合わせください。

連絡いただいたかたの情報を
相手にお話しすることはありません。
安心してご連絡ください

見守りに関する 連絡・相談は 地域包括支援センターへ

地域包括支援センター

北部	大橋1-5-1 クロスエアタワー9階	☎5428-6891、FAX3496-5215
東部	総合庁舎本館1階	☎5724-8030、FAX3715-1076
中央	中央町2-9-13 食販ビル内	☎5724-8066、FAX5722-9803
南部	碑文谷1-18-14 碑小学校内南西側	☎5724-8033、FAX3719-2031
西部	柿の木坂1-28-10	☎5701-7244、FAX3723-3432

開設時間 月～土曜日8:30～19:00
(土曜日は17:00まで。祝・休日、12月29日～5年1月3日を除く)

見守りサポーター養成講座 「つながる見守り～もしものときに備えて」

オンラインでも
受講できます！

日頃の見守り活動の中でもしもの場面に遭遇したとき、どのように動けばいいのか。消防署の職員などから、防災・救急のプロの目線で見守り活動の大切さを学びます。

時5年2月10日(金)10:30～12:00

場総合庁舎本館6階教育委員会室

師目黒消防署職員ほか

対区内在住・在勤・在学者

定①来場=20人②会議アプリWebex(ウェベックス)によるオンライン=30人(各先着)

申①は電話、FAX・Eメール、②はEメールに、講座名、氏名(ふりがな)、電話、希望参加方法①または②、手話通訳・保育希望者はその旨を書いて、12月1～27日に、福祉総合課地域ケア推進係(☎5722-9385、FAX5722-9062、✉fsogo.kouza01@city.meguro.tokyo.jp)へ

ご存じですか？ 防災・救急医療情報キット



災害時、救急救命時に備え、医療情報や緊急連絡先などを専用カードに記入し、冷蔵庫に保管しておくものです。駆け付けた救急隊などが、キットの救急情報カードから医療情報などを確認し、迅速な支援活動につなげることができます。

定期的に
救急情報カードの
記載内容を確認し、
情報更新を

配布場所 地域包括支援センター、総合庁舎本館2階福祉総合課・健康福祉計画課・障害施策推進課・高齢福祉課

